

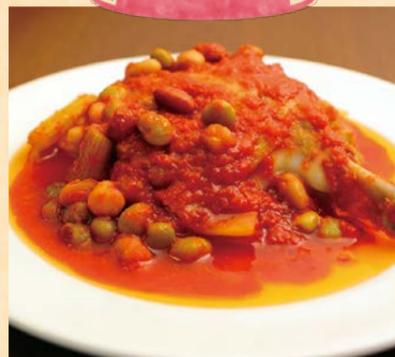


入湯後は
美味を堪能
**温泉地
グルメ**

入浴のほかに
温泉地での楽しみといえば、
もちろんグルメ!
豊かな自然に囲まれた
この地域は「グルメ天国」でも
あるんです。

温泉地にも
美味しいもの
がいっぱいある
から

関・燕温泉



かのうやの
『鴨のコンフィ』

大正4年(1915年)創業。温泉街のお土産屋さんでありながら、12月から3月の冬期間は、スキー場の食堂として営業。パスタ類をはじめ、多彩なアラカルトや自家製ケーキなど、本場ミラノで修行したシェフの味を堪能できる。4月から11月20日は、ランチ・ディナー各1組限定の完全予約制。

〒6087-5 函0255-82-2327 函11:00~LO15:00(ディナーは予約制) 困シーズン中無休 函60席 函なし(温泉街の共同駐車場を利用)

杉野沢温泉



レストラン サンアントンの
『しょうが焼ライス』

妙高杉ノ原スキー場のゲレンデにあるこちらのお店のイチオシは、国産豚肉を使用したボリューム満点の『しょうが焼ライス』(1,400円)。タレやドレッシングはオリジナルで調合するというこだわりぶり。『妙高ゲレンデカレー選手権』で優勝したカレーライスやかつ丼なども好評。

〒3178-3 函0255-86-6426 函9:00~16:00 困無休(営業は12月下旬~3月下旬。杉ノ原スキー場に準ずる) 函120席 函1,800台

池の平温泉



あらきんラーメンの
『高原トマトのトマトラーメン』

妙高高原ならではの寒暖差でおいしくなった『大洞原の高原トマト』。これが旬の時期に仕込んだトマトソースを使い、シーフードミックスや溶き卵と合わせた変わり種ラーメン(860円)。トッピングされたフレッシュトマトの酸味と甘味に、レタスの食感も加わった。リピート率の高い人気の味。

〒2417-15 函0255-86-2150 函9:00~22:30(LO22:00) 困無休 函38席 函10台

妙高温泉



もちや菓子舗の
『米粉バターシフォン』

創業は1959年。この地で60年以上愛され続けている和洋菓子店。日持ちのするサブレやマドレーヌなどの焼菓子をはじめ、キメ細かなモチッと食感で評判の『米粉バターシフォン』も名物だ。地元で暮らす人のお誕生日ケーキから、リゾートで訪れた人のお土産利用にも。850円。

〒637-2 函0255-86-2260 函8:00~18:30 困日曜 函3台

妙高温泉



霧下そば やぶの
『天ざる』

霧が立ち込める事が多く、昼夜の温度差が大きい妙高高原の冷涼な山間で穫れる『霧下そば粉』を使用。ツルリとしたのど越しの二八蕎麦は、昆布や煮干し、カツオ、宗田節などのダシと醤油を、一年間ほど熟成させたそばツユと好相性だ。季節の天ぷらや、小鉢とともに味わいたい。1,380円。

〒720-1 函0255-86-2146 函11:00~14:00/17:00~20:00 困火曜(不定休あり) 函25席(2階にお座敷もあり) 函5台

鶉の浜温泉



マルト歌代商店の
『いちじくのお菓子』

いちじくのなかでも希少な在来種「蓬萊柿(ほうらいし)」。完熟した形のよいものだけを厳選し、ゆでて手で皮をむき、水と砂糖だけで作ったシロップに漬け込む数量限定の缶詰をはじめ、いちじく羹、最中、どら焼きなども名物。いちじくによる大瀧区のみちおこしにも取り組んでいる。

〒1043-1 函025-534-2155 函9:00~18:00 困月曜(不定休あり) 函4台

鶉の浜温泉

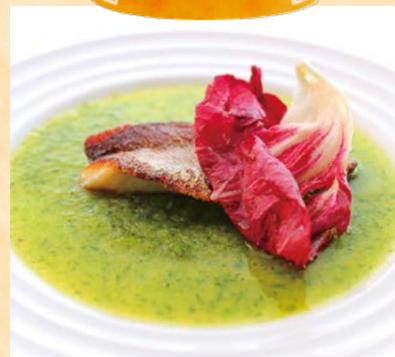


おかしな御菓子屋さん ぜんしろの
『ぜんしろ〜る・玉水プリン』

国道8号沿いの古民家風建物が目印。注文のたびにクリームを詰める『堅焼きシュー』などと並んで人気なのが『ぜんしろ〜る』(880円)。キメが細かくて繊細な食感のスポンジに、たっぷり巻かれた生クリームがポイントだ。常連さんの名前を冠した『玉水プリン』(250円)などもおすすめ。

〒1043-1 函025-534-2098 函9:00~18:30 困月・火曜(不定休あり) 函8台

鶉の浜温泉



ビストロ サブリーユの
『野菜フレンチ』

「上越から北信州にかかる地域は、多種多様な野菜が栽培され、気候的にも土壌的にも、おいしい野菜が育つ絶好の地域です」と、旬の地物を使った「野菜フレンチ」で提供。能生漁港から揚がった魚介や「くびき牛」なども取り入れたコース料理を、ゆったりとした時間とともに味わいたい。

〒714 函025-534-3684 函11:30~LO13:00/18:00~LO19:30 困火曜(ほか不定休あり) 函18席 函8台

新赤倉温泉

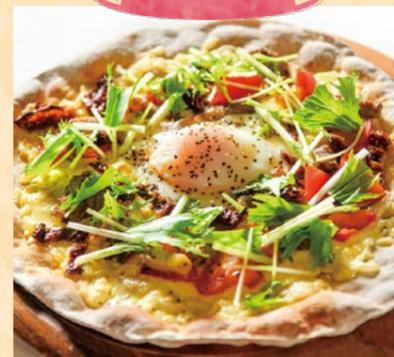


われもこうの
『とんかつラーメン』

赤倉観光リゾーツスキー場のゴンドラ乗り場からすぐ近くのお食事処。広く落ち着いた店内で、ゲレンデを眺めながら食事が楽しめる。パリエーション豊富なラーメンやカレーをはじめ、定食、丼ものを提供。各種アルコールやおつまみも用意しており、シーズン中は夜営業も行なう。1,100円。

〒218-2 函0255-87-2727 函11:00~15:00/17:00~20:00 困不定休 函50席 函5台

新赤倉温泉



Bakery & Table Akakura Kanko Hotelの
『ピッツァ』

赤倉観光リゾーツ&スパ入口近くにあるベーカリーカフェ。自家製豆乳を使った超薄焼きピッツアをはじめ、ビーフシチューや焼きカレーなどのランチが楽しめる。また、ホテルメイドのパン・サンドイッチはテイクアウト可能。写真の「佐渡産黒豚 自家製パンチェッタのビスマルク」は1,380円。

〒216 函0255-87-2503 函9:00~16:30(16:00LO) 困不定休(お問い合わせください) 函50席 函1,000台

赤倉温泉



萬寿堂の
『温泉まんじゅう』

保存料や添加物は一切使わない、白砂糖と黒砂糖を使った二色の皮のまんじゅうが名物。北海道産の小豆を使ったあっさりとしたこしあんとしっとりした生地は絶妙なバランス。スキーシーズンには、周辺のお宿のチェックアウト時間は行列ができるほどの人気。どちらも1個90円。

〒426-5 函0255-87-2324 函8:00~20:00 困秋~冬季無休 函なし